

原子力災害時の家族避難計画（UPZの例）

【例① 平日日中 自宅UPZ・4人家族 基本的な避難行動】

自宅：UPZ（西山地区） 地区の避難先：村上市		発電所の状況	警戒事態（AL）	施設敷地緊急事態（SE）	全面緊急事態（GE）	放射性物質放出後	
家族	現在地	基本の避難行動	速やかに帰宅・家族の迎え	屋内退避の準備	屋内退避	屋内退避継続または指示が出された場合は避難（一時移転）開始	家族との合流
父	職場：UPZ（避難先上越市）	自家用車あり	帰宅	屋内退避の準備 ・窓を閉める ・換気扇を止める ・ペットを屋内に入れる ・非常時の備えの確認	屋内退避	屋内退避継続	避難指示が出されるまでに自宅で合流できなかったときは、避難先の村上市で合流する
母	職場：UPZ（避難先上越市）	自家用車あり	帰宅				
長女	職場：UPZ（避難先糸魚川市）	自家用車あり	帰宅				
次女	職場：市外（UPZ外）	自家用車あり	帰宅中	帰宅			

【ポイント】
UPZは指示があるまで屋内退避を行います。なお、放射性物質が放出されたとしても、UPZ全ての地区に避難指示が出るわけではありません。

【例② 平日日中 自宅UPZ・8人家族 自宅のある地区に避難指示があるケース】

自宅：UPZ（田尻地区） 地区の避難先：南魚沼市		発電所の状況	警戒事態 （AL）	施設敷地緊急事態 （SE）	全面緊急事態 （GE）	放射性物質放出後	
家族	現在地	基本の避難行動	速やかに帰宅・家族の迎え	屋内退避の準備	屋内退避	屋内退避継続または指示が出 された場合は避難（一時移 転）開始	家族との合流
父	職場：市外UPZ (避難先 関川村)	自家用車あり	職場（市外UPZ）からの帰宅 困難	職場（市外UPZ）からの帰宅 困難	職場（市外UPZ）で屋内退避	屋内退避継続、または職場 のある地区に避難指示が出 た場合は、関川村に自家用 車で避難	状況が落ち着いたの ち、父が長女を迎えに 行き、南魚沼市の避難 所で合流しする。
母	職場：PAZ (避難先 村上市)	自家用車あり	長男を迎え後、帰宅	屋内退避の準備 ・窓を閉める ・換気扇を止める ・ペットを屋内に入れる ・非常時の備えの確認	屋内退避	自宅のある地区に避難指 示、南魚沼市に自家用車で 避難開始	
長女 （高校生）	学校：市外UPZ (避難先 新潟市)	電車通学	公共交通が不通のため、 学校で待機	学校で待機	学校で屋内退避	屋内退避継続 または学校 のある地区に避難指示が出 た場合は、教職員の引率に より新潟市にバス避難	
次女 （高校生）	学校：UPZ (避難先 上越市)	自転車通学	学校指示により、帰宅	屋内退避の準備 ・窓を閉める ・換気扇を止める ・ペットを屋内に入れる ・非常時の備えの確認	屋内退避	自宅のある地区に避難指 示、南魚沼市に母の自家用 車で避難開始 ※曾祖母の避難に福祉車両 が必要な場合は、市に福祉 車両の手配を依頼し、祖父 が付き添い、福祉車両で避 難する。	
長男 （中学生）	学校：UPZ (避難先 南魚沼市)	自転車通学	母と一緒に帰宅				
祖父	自宅：UPZ (避難先 南魚沼市)	無職・基礎疾患あり ・自家用車あり	情報収集				
祖母		無職・運転不可					
曾祖母		持病あり・歩行困 難・運転不可					

【ポイント】
自家用車やバスでの避難が困難な場合（避難に車いすやストレッチャーが必要など）は、市が自宅に福祉車両を手配します

【例③ 休日 自宅UPZ 3人家族 災害対応に従事している場合】

自宅：UPZ（北鯖石地区） 地区の避難先：南魚沼市		発電所の状況	警戒事態（AL）	施設敷地緊急事態（SE）	全面緊急事態（GE）	放射性物質放出後	
家族	現在地	基本の避難行動	速やかに帰宅・家族の迎え	屋内退避の準備	屋内退避	屋内退避継続または指示が出された場合は避難（一時移転）開始	家族との合流
父	自宅：UPZ (避難先 南魚沼市)	自家用車あり 医療機関勤務	災害対応（入院患者の診察等）に従事	災害対応（入院患者の診察等）に従事	災害対応（入院患者の診察等）に従事 外出を控える旨の注意喚起発出後、屋内退避	屋内退避継続	
母	市内で外出中	自家用車あり	帰宅	屋内退避の準備 ・窓を閉める ・換気扇を止める ・ペットを屋内に入れる ・非常時の備えの確認	屋内退避		
長男 （小学生）							

【ポイント】
屋内退避中の生活の維持に従事するライフライン管理者・民間事業者は、外出を控える旨の注意喚起が発出された時点で対応を中断し、屋内退避します。